

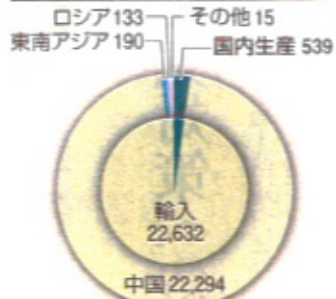


1 製材の過程で端材が出る



広告入りの割りばし

割りばしの国内生産量と輸入量(07年)



2 皮をむいた端材を割りばしの長さで切りそろえる



3 加工しやすいように蒸したあと、割りばしの厚さに切る



4 機械で割りばしの形に裁断し、不良品をチエック



5 1日かけて乾燥させ、不良品がないか確認  
※いずれも徳島県三好市



大学生協の食堂での採用が年々増えている

グラフィック 石井 眞 / The Asahi Shimbun

# 森を守る「間伐材割りばし」

森林破壊につながるとして割りばしがより玉に挙げられ、「マイはし」を持つ人も多い。一方で、国内の森を間伐して出た端材でつくる「間伐材割りばし」が注目されている。割りばしのほとんどは輸入だから、国内材を使えば海外の森を傷めることがない。間伐すれば木がよけよけ育つて二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)を多く吸収し、地球温暖化防止にもつながる。使い捨てなのに環境にやさしい割りばしなのだ。

大阪市立大(大阪市住吉区)の学生食堂、トレーを持った学生たちが会計待ちの列をつくるレジカウナーに、3種類のはしが並んでいた。はし袋に入っていない裸の割りばしは、はし袋に公開中の映画の広告が入った割りばし、プラスチック製ののはし。工学部2年の男子学生(19)は、「僕はいつもこれ」と裸の割りばしを手にとった。山林保護や山間地の活性化に取り組むNPO法人「樹恩ネットワーク」(東京)が普及に取り組み、間伐材でつくった割りばしだ。

林業不振で荒れる山を守る一助にと98年に始めた。山林は間伐をしなければ根もとに日光が入らず、木がよけよけ育たない。だが、輸入材に押されての国産材の需要減や人手不足が響き、間伐が進まず荒れてしまふ森が増えている。この割りばしの製造元、徳島県三好市の通所産産施設「セルプ善蔵」を訪ねた。間伐材からとれる

## 生産追いつかず 順番待ちも

端材を近隣の製材所から買い取って割りばしに加工し、樹恩の仲介で大学生協などに販売している。木のおいが善蔵作業部で、知的障害のある人たちが黙々とだが熱心に割りばしの出来をチェックしていた。施設長の五馬章夫さん(38)は「障害者は仕事を探るのが難しいんですが、割りばしの注文のおかげで助かっています。10代から60代までの40人ほどが、職員と1日約5万個を作る。障害のある人たちの担当は、曲が

## 温室ガス削減効果も

森林の間伐は荒れた森の整備を進めるためだけでなく、地球温暖化防止の観点からも重要性が高まっている。

京都議定書の第1約束期間が今年から始まり、日本は2012年までの5年間で、CO<sub>2</sub>などの温室効果ガスの排出量を基準となる1990年比で8%減らさなければならない。政府は企業に設備の省エネ化などによる排出削減を

## 袋に広告 割高な価格抑える

材とは戻らない。輸入割りばしの一般的な価格は、はし袋なしのものより1円前後だが、セルプ善蔵のものは2円ちょりと。値ははるもの、環境問題への関心の高まりから注文は増える一方だ。

現在は全国64の大学生協で年1千万個が使われている。学園祭や地域の祭りでの注文も多い。セルプ善蔵のほかに08年に埼玉県熊谷市、08年に群馬県桐生市の施設でも製造が始まった。それでも生産が追いつかず、順番待ちの大学がある。今秋には東京都内の商店街から「飲食店で一括採用したい」と相談されたが、供給量が足りず断られた。樹恩の事務局長、鹿住貴之さん(36)は「山は間伐で守られるというところを多くの人に知ってもらおうと、これまでやってきた」と話す。

輸入品より割高でも値段が高くなる国産割りばしを普及させるため、はし袋に広告を入れて差額

をまかなおうという取り組みも動き出した。コンビニエンスストアのロッソンが20、30代の女性向けに展開する「ナチュラルロッソン」は11月下旬、首都圏の82店ではし袋にガムの広告が入った間伐材割りばしを使い始めた。和食ファミリール「ストラン」などの「を」を展開するケンレイ(大阪市)も、10月から首都圏の10店で広告入りの間伐材割りばしを採用。来年6月には関西の82店でも導入する予定だ。11月には映画「私は貝になりたい」の広告入り割りばし10万個が、大阪市立大など全国25大学の学生食堂に登場。長野市で開かれた「信州ラーメン博」では、地元温泉宿が観光客を呼び込もうと4万5千個に広告を出した。プロジェクトを担当する野村亮史さん(45)は「食へながらじっくり見てもらえるし、特定の相手に発信できる。優れた広告媒体だと話す。

